

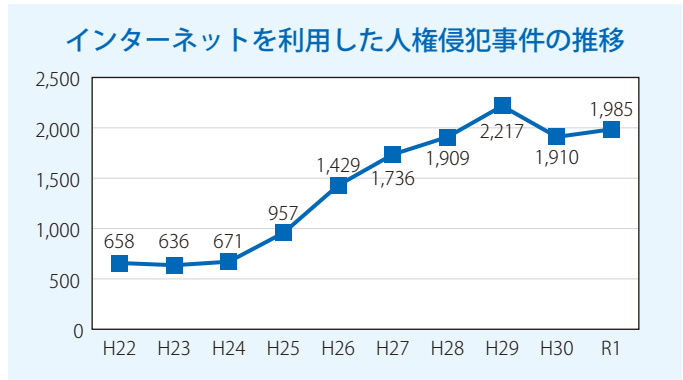
子どもも大人も 安心してインターネットを使うために

インターネットは、大人だけでなく子どもにとっても、身近で生活に欠かせないものとなっています。しかし便利な反面、使い方を間違えるとさまざまなトラブルの原因になります。今回は、「人権」の視点から、インターネットについて考えます。

インターネットをめぐる現状

インターネットを悪用した人権侵犯事件は後を絶ちません。右表を見ると、令和元年は平成22年と比べて3倍以上となっており、ここ数年は約2,000件に及んでいます。その多くは、他人を誹謗中傷する情報や差別的な情報の掲載などによるものです。

インターネットは、使い方次第では人を傷つける凶器にもなります。「加害者」にも「被害者」にもならないために、ネットモラルを身につけ、日常的に人権意識を高めていくことが大切です。



出典：法務省

インターネットを使うとき どんなことに注意すればいいですか？



Q1 インターネットを使って 情報を集めるとき

インターネット上には、事実ではない間違った情報や、わざと差別を広めようとしている情報も存在します。すぐにインターネットの情報を信じるのではなく、立ち止まって、その情報が事実であるのかということや、その情報の目的は何なのか、といったことを判断する力を身につけることが大切です。

Q2 自分の考え・意見などの 情報を発信するとき

忘れてはいけないのは、「読み手」がいて、多くの人に見られるということ。「自分が発信する内容を、読み手がどう感じるか」「発信した内容が広がると、どんなことが起きるか」を想像すること、またその力を身につけることが大切です。インターネットに限らず、「自分や他人の個人情報」「人を傷つけること」「差別的な情報」などは、絶対に発信してはいけません。

他にもこんなことに気を付けよう

ルールをつくらう！

- 時間や場所、目的
- 利用状況を家族で確認
- フィルタリング など

つながりを大切に！

- 人とのふれあいを大切に
- 大事なことは、直接会って話すこと

かかえこまない！

- 心配なことや疑問に思ったことは、身近な人に相談すること

岡山人権・同和教育課 ☎72-2111